

合併記念

&

三次市制施行50
周年記念特集

発行元

誠ゆう会企画広報部



目次

ごあいさつ

特集！！

・子育ての部屋

・さとのひとり言

議会報告

一般質問紹介

・市庁舎建設問題

について

・駅前周辺整備事業

について

・さとのひとり言

・広島三次ワイナリー

祝10周年

P1

P2

P3

P4

P4

福岡さとしを育てる会(誠ゆう会)会報

誠ゆう会通信

N E O L D

温 故 知 新

n e x t n e o o l d

古い事柄を復習しながら、新しい知識や道理を見つけること。

過去の事実と共に現実の事実を認識すること。

ごあいさつ

三次の風物詩である霧が、深く漂い始めると、いよいよ秋も本番、肌寒さを感じる季節となりました。

本年は、気象観測史を塗り替える多くの台風が日本列島を直撃し、広島県はもとより、多くの地域で被害が相次ぎました。まずもって、被災をされました地域の皆様に心からご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、本年4月に8ヶ市町村による市町村合併が施され、県北地域の行政区の再編が行われ、新たに「新三次市」の歴史が刻まれ始めたのは周知の通りであります。同時に旧三次市については、昭和29年3月31日の市制施行以来、本年の10月1日をもって、満50歳の誕生日を迎えた記念すべき節目の年でもあります。

これまで本市を支え、運営してこられた市民の皆様から感謝と敬意を捧げるとともに、これから新三次市の運営に携わる一市民として、責任と期待を感じつつ活動させていただき気持ち一杯であります。

これまで、文化や歴史の異なる市町村が1つとなり、一体的な新たな街づくりが課題となりますが、それらを継承し、反映しながら、何よりも合併してよかったと思えるまちづくりが大前提となります。

しかし、三位一体の改革にしっかり、補助金削減ありきで、税源移譲の議論は行われていない状況であり、郵政民営化にしても、地域に根付いた特定郵便局の役目を考慮せず議論が行われようとしております。もっと地方の現状に着目し、配慮をしていただかなければ、地方分権はもとより、合併してよかったという住民の期待に反映しないと私は考えております。

新しい三次市の将来に向かって、住民の皆さんとともに、合併後のまちづくりに、課題を共有しながら、活動していく所存であります。

今後とも、より一層のご指導をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。



毎週月曜日の早朝、街頭演説を始め、はや1年半が経過しました。だんだんと寒さが身にしみる季節となりました・・・



※1. マンモグラフィ・・・

乳房のX線（レントゲン）撮影のことで、早期に乳がんを発見することができます。

特集 「子育ての部屋」

今9月定例会の争点となった乳幼児医療費について、トピックしてみます。本年4月の市町村合併を期に、子供の医療費（0歳児～6歳児）が無料であったのはご承知のとおりであります。10月1日から対象年齢が拡大されました。それに伴い、500円の一部負担が必要になり、一医療機関につき通院1日500円（月4日まで）、入院1日500円（月14日まで上限）の助成制度となり、所得制限も撤廃されました。

更に来年の4月から、水痘、おたふくかぜのワクチン接種の助成制度と妊婦検診の助成券を2回から6回に増やし、子育て支援を充実することが決定しております。(^.^)^{すいと}b

広島県内14市の実施状況

市 名	対 象 年 齢（歳）	負担額（円）
福山市	入院は9歳児、通院は6歳児まで	500円負担
呉市	入院は9歳児、通院は6歳児まで	500円負担
<u>三次市</u>	<u>入通院とも9歳児まで</u>	<u>500円負担</u>
竹原市	入通院とも6歳児まで	500円負担
三原市	入通院とも6歳児まで	500円負担
尾道市	入通院とも6歳児まで	500円負担
因島市	入通院とも6歳児まで	500円負担
府中市	入通院とも6歳児まで	500円負担
大竹市	入院は12歳児、通院は6歳児まで	500円負担
東広島市	入通院とも6歳児まで	500円負担
安芸高田市	入通院とも6歳児まで	500円負担
広島市	0歳児及び乳児健康相談受診者等（受診率95%）については入院は無料、通院は初診料算定時に500円負担	
庄原市	入通院とも6歳児まで	無料
廿日市市	入通院とも6歳児まで	無料

注目

子育て支援策、「こんな支援があればいいなあ」、といったご意見のある皆さん、下記にメールしてください。

E-mail

ssf3104@bronze.ocn.ne.jp



さとしのひとこと

上記表のように三次市では、子育て支援対象年齢を9歳までとして、長期的な支援を充実させております。また所得制限を撤廃しているのは、県内において本市のみであり、更なる対象年齢の拡充を目指して今後も訴えていきたいと思っております。また、子供の医療費の問題とともに、子供を育てる親の環境整備も考えていかなければなりません。例えば、日本人女性の30人に1人という高い割合にかかる「乳がん」は、早期発見が何よりの治療といわれております。その早期発見を可能とし、また発見率も上昇する「マンモグラフィ」(※1)というX線機器を導入する等、子育てをする年代の方への医療支援、環境整備も「子育て支援」の一施策として必要になるのではと思っております。

子供の笑い声があちこちから響くような町、子供を育てるなら三次市に住みたいと思えるようなまちへ、一歩でも近付けられるよう、住民の皆さんとともに考えていきたいです。

市庁舎建設問題について

132名



～現在の課題と問題点～

1. 本来一緒にあるべき行政機能が分散している。（例：福祉事務所、自治振興部、水道局、教育委員会など）
2. 高齢者や障害者に対して、優しい建物ではない。
3. 駐車場スペースが不足している。（年間約580万円の駐車場利用料金がかかっている）
4. 本館は昭和30年の建設以来、耐震検査も実施しておらず耐震構造にもなっていない。
5. 市民の生命を守る防災拠点として機能できない。

上記に掲げる問題点がある反面、万が一移転ということになると、十日市市街地の空洞化という三次市の経済を衰退しかねない状況に陥ることが大きく懸念される。

～今後の計画は？～



上記の課題と問題点を踏まえ、十日市市街地の一体的な都市計画である、駅前再開発事業、十日市公民館建設問題、備北地域事務所の活用等、地域住民と共に本格的な議論をする時期であると考えている。庁舎について位置、規模、建設費、建設年次を含めた今後の計画は？



合併協議会で庁舎建設については、共通の課題と認識され、新市まちづくり計画にもあがっている。本年度にその調査を開始していく計画があったが、予算編成において、国の交付税の削減、合併時に町村からの持ち寄り基金の減少等の要因で、予算から見送った敬意がある。今後の計画について、具体的には未定であるが、建設をするのであれば、詳細な基本計画をたてる必要がある。

～調査会・検討会の設置を～



仮に合併特例債を活用するのであれば、10年間という時間的な制約があり、またこの事業に関しては、国からの補助金もないため、一般財源で賄わなければならない。それらのことも踏まえ、PFI（※2）の検討も一事業案として視野に入れ、早期に庁舎建設に関する調査会、検討会を設置し、市民参加の議論が必要になるのでは？



庁舎のみならず、十日市の活性化策を含めた駅前再開発事業、公民館建設の問題等の様々な観点から庁舎問題と合わせて地域の皆さんにもしっかりと議論していただきたいと思っている。また合併協議の建設計画もかんがみながら、検討会等の設置についても、早急に検討を重ねていきたいと考えている。

※2. PFIとは・・・

公共施設の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。



PFIの効果・・・

国や地方公共団体の事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供が可能となる。



元気ハツラツで執行部にせまる！

ご協力心から
感謝いたします！

福岡さとしを育てる会
（誠ゆう会）通信及び、
後援会活動をもっと皆様
に知ってもらい、この会
報をより充実した内容に
していく為に、誠に恐縮
ではありますがご協力の
程、宜しく願いいたします。
m()m

口座番号 JA三次本店
普通 8756512
福岡さとしを育てる会
（誠ゆう会）



※3. JT跡地・・・

国道183号線に隣接し、三次駅の西側に位置する、日本たばこ産業（株）三次倉庫の跡地。
住所
三次市十日市中1-2-17

福岡さとしを育てる会 (誠ゆう会) 事務所

〒728-0014
三次市十日市南5-4-31
Tel (0824)62-3514
Fax (0824)63-2755

福岡さとしへ
何でもメール！！

E-mail
ssf3104@bronze.ocn.ne.jp

福岡さとしプロフィール

S50年6月 三次市に生まれる
H6年3月 広陵高等学校卒業※2年時、春の甲子園出場。野球部キャプテンを経験。
H10年3月 広島電機大学卒業（現広島国際学院大学）
H10年4月 湧永製薬(株)入社
H13年4月 同社を退社
H13年5月 三次市議会議員初当選
H15年4月 県議会議員選挙出馬
H15年9月 広島修道大学大学院法学研究科国際政治学科入学
H17年9月 同大学院終了予定！？
H16年5月 三次市議会議員再選
(2期目)

現在の役職

- ・ 総務常任委員会所属
- ・ 地域開発調査特別委員会所属
- ・ 県北情報センター組合議会議員
- ・ 県北情報センター組合議会監査委員
- ・ 全国若手市議の会副会長
(中国ブロック代表)
- ・ 少年野球教室実行委員長
- ・ 三次青年会議所社会開発部門
社会開発委員長

駅前再開発事業について

～基本構想は？～

Q 今年度予算の中に、PFI導入可能性調査業務委託費として、約1,000万円が計上されている。この事業の目的は、国道183号線沿いに隣接する商店街、南畑敷の商業集積地からサングリーン、駅前、そして三次プラザといった人の動線の確保が最大の課題であると私は認識している。これから県北の中核都市として、新たな顔となる駅前再開発事業についての課題並びに基本構想について市当局の見解は？

A この事業については、駅前の国道183号線の4車線化と合わせ、鉄道やバスなど交通拠点機能の強化、若者を中心とした娯楽施設の整備、立地性を活かした居住空間などを創造する方向性をまとめている。また計画区域の半分を占めるJT跡地(※3)を昨年度土地開発公社において先行取得し、その他の用地については、権利者の皆さんと相談させていただく中で、用地買収を順次、積極的に進めるのが平成16年度の事業だと考えている。



さとしのひと言

このPFI手法について、もう少し詳しく解説すると、各地方自治体の財政難の折から民間の活用が望まれており、すでに、わが国でも、英国に習いPFI（プライベート ファイナンシャル イニシアティブ：民間による公共事業の実施）方式が法案化され（平成11年7月31日成立）、公共事業への民間の資金とノウハウが様々な分野で活かされている。その導入効果は、市民サービスの向上と財政支出の削減に大きな効果があり、これから最も期待されている手法である。ただし、ここ近年で広がっている事業手法であるため、どれだけの事業実績、効果をあげているかというデータが乏しいという実態があり、それをどうやってカバーしていくかが課題である。

※この他にも何点かの質問をしましたが、紙面上の都合により割愛させていただきます。m(_)_m

広島三次ワイナリー 祝10周年

平成3年、地元資本により『(株)広島三次ワイナリー』が設立され、平成6年創業開始以来、10年を迎えた。歴代役員をはじめ社員一同の結束と営業努力により、創業以来10年連続で黒字経営となり、第三セクターの優等生として全国でも脚光を浴びている。建設中の美術館と共に、県北の観光拠点として益々の発展を祈念します。

